



coreBUS及びオプション・ハードウェア基板 coreIN-Mic4を搭載したlabCORE
 (フロント面の切り抜き線と文字部分にさらに基板追加が可能)

解説

labCOREのベーシック・モデルには既に多くの高品質アナログ及びデジタル入出力機能が搭載されています。測定シナリオによりインターフェイスや機能を追加したり、測定した或いは作成した信号を高精度化するに labCOREに最大10までハードウェア拡張基板の搭載が可能です。この為に labCORE に内部インターフェイスとして I/O BUS メイン基板 coreBUS が備わっている必要があります。coreBUS はオーディオ信号を基板間で伝送し、信号伝送を制御し、Word-Clock を供給し、電源供給を管理します。

下記のハードウェア拡張基板を組み合わせることで labCORE はほぼ全ての測定シナリオを実現可能です：

- **coreOUT-Amp2**
 - 2 x アンプ出力
- **coreIN-Mic4**
 - 4 x 高精度マイクロホン入力
- **coreOUT-A2**
 - 2 x 高精度アナログ出力
- **coreIN-A2**
 - 2 x 高精度アナログ入力

更にハードウェア拡張基板を開発中或いは開発を計画しています。

labCORE は拡張基板搭載用のスロットが予め用意されています。フロント面のスロット 1 とスロット 2 は coreOUT-A2用、スロット 3 及び 4 は coreIN-A2用です。スロット5 は coreIN-Mic4用です。基板の搭載状況がラベルとステータスLEDでフロント面に表示されています。

labCOREの背面には追加で 3 つまでスロット 6、7、8 に coreIN-Mic4 を増設可能です。スロット9 と 10 は coreOUT-Amp2用に確保されています。これらの2 つのスロットは coreOUT-Amp2の電流消費を考慮し追加のオンボード電源ラインが搭載されています。

labCOREはニーズに応じて物理的制約がない限り柔軟に拡張が可能です。下記のオプションのリスト、次ページのlabCORE 拡張の為のシステム構成例を参照ください。

主なフィーチャー

- I/O BUSメイン基板
 ハードウェア拡張基板*の搭載に必須
- 様々な組合せが可能な
 最大 10 の拡張スロット
- 基板間の信号伝送及び電源供給

coreBUS (Code 7710) labCORE I/O BUSメイン基板

概要

オプションのcoreBUS I/O BUSメイン基板は labCOREとオプション・ハードウェア基板の間のインターフェイスの役割を果たします。ハードウェア基板間でオーディオ信号と通信信号を伝送し電源供給を管理します。coreBUS はいろいろなシステム構成を可能にする為の基板搭載スロットを最大10 用意しています。labCORE ハードウェア拡張基板を搭載するのに必要なアイテムです。

アプリケーション

- labCOREへの入出力等の追加機能の搭載。ニーズに応じたハードウェア拡張基板の追加に対応。

一般的な要件

ハードウェア

- labCORE (Code 7700)、モジュール式多チャンネル・ハードウェア・プラットフォーム

納品アイテム

- **coreBUS (Code 7710)**
 labCORE I/O BUSメイン基板
 - **工場搭載**：生産段階でlabCOREに coreBUSを搭載
 - **後付け**：
 labCOREをヘッドアコースティクスに返送頂き搭載

*拡張基板のうち、coreIP-AMR及びcoreBTは除く

Extension board options for labCORE with coreBUS

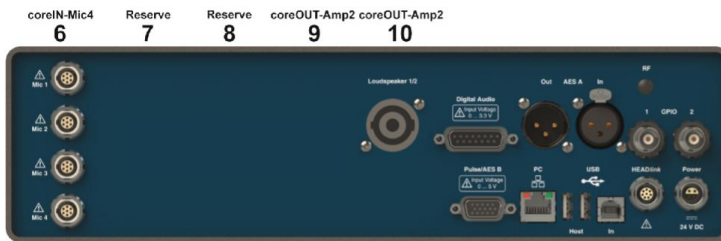
		Front slots					Rear slots				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Boards	coreOUT-Amp2									•	•
	coreIN-Mic4					•	•	•	•		
	coreOUT-A2	•	•								
	coreIN-A2			•	•						

構成例 (前面)



- ・**スロット 1 : coreOUT-A2**
- 2 x 高精度アナログ出力
- ・**スロット 2 : coreOUT-A2**
- 2 x 高精度アナログ出力
- ・**スロット 3 : coreIN-A2**
- 2 x 高精度アナログ入力
- ・**スロット 4 : coreIN-A2**
- 2 x 高精度アナログ入力
- ・**スロット 5 : coreIN-Mic4**
- 4 x 高精度マイクロホン入力

構成例 (背面)



- ・**スロット 6 : coreIN-Mic4**
- 4 x 高精度マイクロホン入力
- ・**スロット 7 :**
- coreIN-Mic4用に確保
- ・**スロット 8 :**
- coreIN-Mic4用に確保
- ・**スロット 9 : coreOUT-Amp2**
- 2 x アンプ出力
- ・**スロット 10 : coreOUT-Amp2**
- 2 x アンプ出力